

浜中町の橋梁点検報告

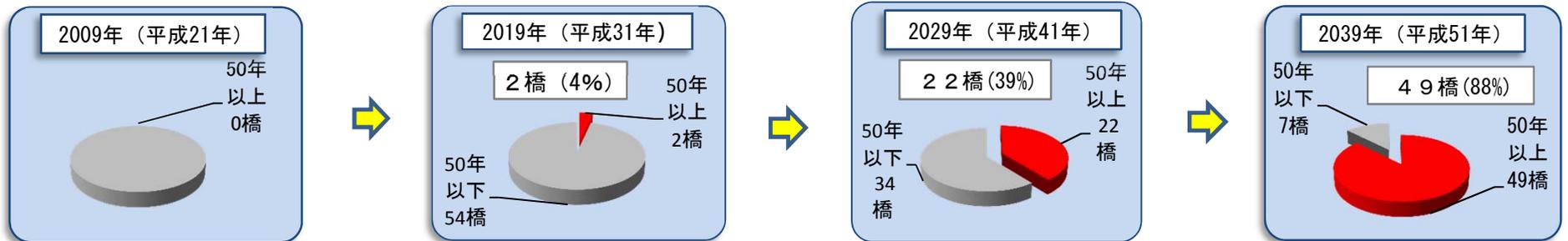
浜中町では平成21年度に町が管理している橋梁について点検を実施したので報告します。

1. 目的

浜中町が管理している橋梁は現在56橋です。

コンクリート橋を標準とした場合、その寿命は概ね50年と考えられ、建設後50年を経過した橋梁数は2009年(平成21年)ではありませんでしたが、10年後の2019年(平成31年)には2橋(4%)、20年後の2029年(平成41年)には22橋(39%)、そして、30年後の2039年(平成51年)には49橋(88%)となり、高齢化橋梁が増大します。

建設後50年以上の橋梁数の推移



そこで、今後定期的に橋梁点検（橋梁診断）を実施し、橋梁状況の把握および補修方法、更に計画的な架け替えを着実に進めることにより、可能な限り、コスト縮減を図る計画（長寿命化計画）の資料とするものです。

2. 浜中町の橋梁健全度の把握について

当町が管理する橋梁は2030年頃から急激に高齢化橋梁が増加する状況にあります。そして、経年劣化に加えて地域特性（塩害、雪害、風害等）も作用して、その劣化速度が加速される状況にあります。

当町として、今回の橋梁点検結果を参考にして、今後、巡回点検を実施し、資産（アセット）の計画的且つ効率的な管理（マネジメント）を目指します。

調査概要

- 近接による調査(1)
 - ① 支承位置に登り（梯子使用程度）、支承の機能障害を近接調査する。
 - ② 同時に、主桁端部周辺の近接調査を行う。
 - 鋼橋：主桁・端対傾構等の腐食、亀裂、床版ひびわれ他。
 - コンクリート橋：主桁・端対傾構等の漏水・遊離石灰、床版ひびわれ他。
- 近接による調査(2)
 - ① 道路上から、路面の凹凸を近接調査する。
- 遠望による調査
 - ① 遠望（例えば、橋の下の河原、堤防の上）から、双眼鏡程度を用いて目視調査する。

評価要領

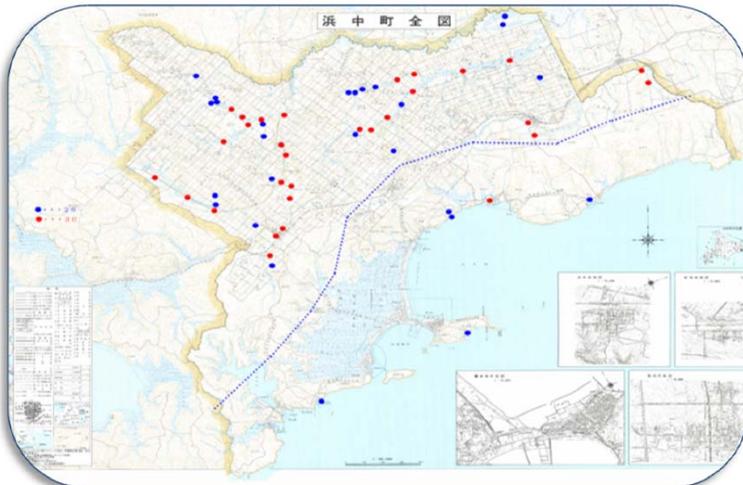
(H19年 国土交通省 国土技術政策総合研究所)

損傷の種類		評価方法
鋼 損部 傷材 の	① 腐食	a～e
	② 亀裂	有無
	③ ボルトの脱落	有無
	④ 破断	有無
コン クリ ートの 損傷	⑤ ひびわれ・漏水・遊離石灰	a～e
	⑥ 鉄筋露出	有無
	⑦ 抜け落ち	有無
	⑧ 床版ひびわれ	a～e
	⑨ PC定着部の異常	有無
そ共 の通 他・	⑩ 路面の凹凸	有無
	⑪ 支承の機能障害	有無
	⑫ 下部工の機能変状	有無

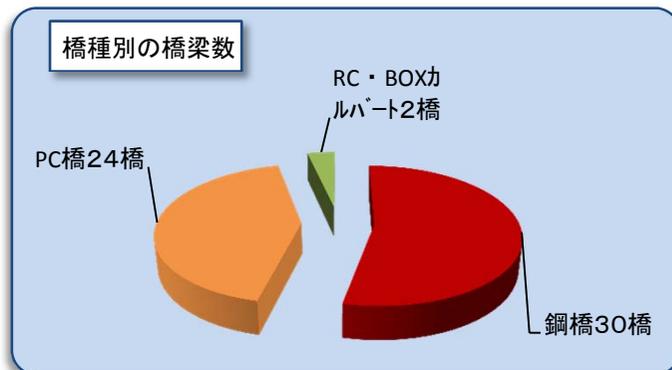
3. 今後の計画

- ・ 橋梁点検結果をもとに、平成23年度で橋梁長寿命化修繕計画策定を行います。
- ・ 橋梁長寿命化修繕計画策定にあたり、①損傷が大きい橋梁 ②重要なネットワーク上の橋梁 ③緊急輸送路等の路線に位置する橋梁等の優先順位を考慮した計画策定を行います。

浜中町が管理している橋梁位置図



- 凡例 ● 鋼橋
● PC橋、RC橋、BOXカルバート



浜中町の橋梁点検に関する問い合わせ先
浜中町役場 建設水道課 土木係
TEL 0153-62-2342
FAX 0153-62-2229